日本一元気で魅力ある超高齢社会づくり (ちゃーGANJU CITYの実現)





○ 海と緑と光あふれる南城市



南城市の概要

■平成18年1月1日、1町3村(佐敷町・知念村・玉城村・大里村)の合併で誕生

■位置:県都那覇市から南東へ約12km

Nanjo city, Okinawa

■面積:49.77k㎡ 人口:41,965人(H26.5月末)

Naha

airport

☆合併により地形が「♥ハート型」になりました

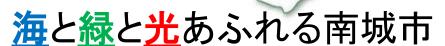


南城市

Kudaka island

Nanjo city







市章の意味

南城市の「N」の文字を図案化したもので、緑色は豊かな自然を 青色は豊穣の海を、赤色は太陽をイメージし、合併により未来に 向かって躍進する元気な市民を表現しています。

island

1. 南城市の概要

☆南城市の主なイベント





「ハやし」と「健康」





1. 南城市の概要

☆南城市の主なイベント





市民手づくりによる イベントの数々・・・





☆歴史・文化遺産

【2000年11月登録】



大庫理(うふぐーい)



寄満 (ゆいんち)



御門口(うじょうぐち)



三庫理(さんぐーい)

☆歴史・文化遺産



神々の島



久高島

琉球開びやく神話の地





ウドゥンミャー(御殿庭)久高殿

☆歴史・文化遺産(国指定)



尚巴志 生誕の地









☆地域文化

伝統行事や芸能に受け継がれて(1)









☆地域文化

伝統行事や芸能に受け継がれて (2)





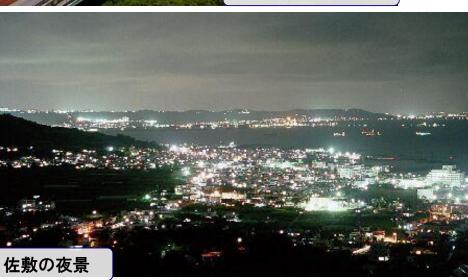




☆ロケーション 癒しあふれる自然環境









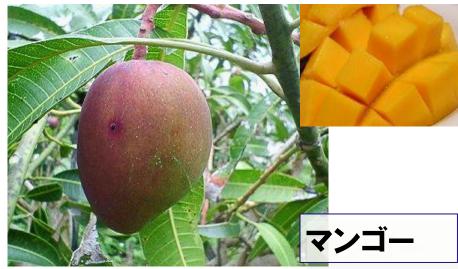
3. 農業振興における展開等

大地の恵み (拠点産地指定)









4. 水産振興における展開等

海の恵み











南城市のまちづくり ちゃーGANJU CITY構想

1. ちゃーGANJU CITYとは?

- ●ちゃーとは、沖縄方言で「いつも」という意味(継続的なまちづくりの推進を示す。)
- ●GANJU(がんじゅう)とは、健康で頑丈を意味し、同時に「(G)元気で、(A)明るく、(N)仲良く、(J)ジンブン:知恵ある、(U)ウマンチュ:万人」の社会、まちづくり
- ●沖縄の特殊性、南城市の独自性(まちづくりの課題・目標)から、<u>将来ビジョン・目</u>標達成の取組方針を定めた構想。※10年後、自立できる南城市を目指す!

総合計画等から「具現化への橋渡し」としての体系化、拡充・拡大していく(相乗効果を生み出す)役割を担う

2. 目指すべき将来ビジョン

- ●自然の恵みから人々の知恵や力に至るまで、あらゆる地域の 資源と共に在り続ける「共存のまち」
- ●子育ても、お年寄りの手助けや見守りも、まち全体で支え合う「共助のまち」
- ●日々の営みの成果を分かち合い、まちの活力と成長を共有する「共栄のまち」

「共存」「共助」「共栄」のまちづくり!

3. 将来ビジョンと6つの取り組み方針

共存のまちづくり

- (1)地域特性とマッチしたエネルギーシステムの導入
 - ~快適な暮らしを持続的に提供するために~

- (2)環境共生産業の定着
 - ~まちづくりの成果を共有し、自立可能な経済基盤を創り出すために~

共助のまちづくり

- (3)健康長寿生活の再構築
 - ~活き活きとした暮らしを、コミュニティ全体で支え合うために~
- (4)安心安全の確保
 - ~安全で安心して暮らせる生活を市民全員が分かち合うために~

共栄のまちづくり

- (5)「南城ツーリズム」のネットワーク化
 - ~まちに活気を与える出会いと交流を広く実現するために~
- (6)新戦略産業の育成
 - ~成長力の高い新たな就労機会を、まちに生み出すために~

★健康長寿生活の再構築

①現状と課題

- ◆南城市でも、今、高齢者の一人暮らし、自宅引きこもりによる健康生活の阻害が 懸念
- ◆高齢者が外出したくとも気軽に出る場や手段(交通)、機会が少なくなっている ・殆どの路線バスが運行頻度2本/1時間以下、バス停から遠い(距離300m圏以 上の行政区が多数存在)
- ◆若年層の流出、若者が定住(3世代同居)しにくい環境?>>>市職員でも・・・・・
 - ・南城市の本籍人口6万3千人余であるが、現在人口4万1千人余、若年層を中心 に市外で生活

②取組方針

- ●様々な世代の人々が出会い、語らい、教え合い、学び合える場と機会の提供で総合的な生きがいを創出する!
- ●地域コミュニティの基盤、活動の場となる「ムラヤー」を機能拡充し南城らしさを具現化 ※ムラヤー:自治公民館
 - ・手助けや見守り等の普及を促すコミュニティビジネス、ソーシャルビジネスの定 着に向けた環境づくり

- ③取組要素 青文字: 実施中(実施決定)案件
 - ※3世代同居住宅の政策的供給促進(制度化検討中)
 - ※「ユイマールモデル」実践の核「ムラヤー」の機能拡充、南城市民大学で地域リーダー育成
 - ※手助けや見守りなどの普及と定着を促す、ソーシャルビジネス組成の環境づくり!
 - ※南城ウェルネス事業の進化(個の健康管理から総合的な健康づくりへ)
 - ※医療情報の多角活用を図る「医療情報ネットワーク事業」のモデル展開
 - ※デマンドバスの導入による高齢者の外出促進(H25~実証事業開始)
 - ※移動まちや(商店)が集まるマルクト(市が立つ広場)型賑わい空間の創出
 - ※食(買い物弱者)の支援!高齢者・介護者向け食品の製造・加工・宅配事業の展開



- ★H23年度 南城市:保健文化賞受賞 ※県内自治体で初の受賞
- ★H24年度 知名区:県の「沖縄、ふるさと百選」に認定(糸数区に次いで2例目)
- ★H25年度 つきしろ区:地域づくり総務大臣表彰 ※自治会受賞は全国的にもまれ

○ Goal(目指すべき将来像)

外出と交流を促進し、長寿の源である健康長寿生活ネットワークを再形成する。

ICT超高齢社会づくり推進事業の概要(日本一元気で魅力ある超高齢社会づくり)



1. 南城市におけるこれまでの超高齢社会への取組み

県内自治体で初となる保健文化賞受賞

県内初となるデマンド交通の導入

県内で唯一「SmartWellnessCity首長研究会」参加

南城ウェルネス事業の実施

2. 南城市における超高齢社会が抱える地域課題

高齢者向け情報伝達手段の拡充と生活支援の推進

健康長寿生活の再構築と「ムラヤー」の機能拡充

高齢者の就労による社会参加・貢献の促進

家族で地域で支え合うまちづくり

3. 地域課題の解決方法

テレビを活用した高齢者の外出を促す仕組みづくり

「ムラヤー」を中心とした地域コミュニティ活性化と 健康増進

就業支援による生きがいづくりと人材掘り起こし

地域全体で取組む超高齢者社会づくりの推進

4. 本事業における目標イメージ

提案者

NTT西日本沖縄支店(代表)、南城市、南城市シルバー人材センター、南城市社会福祉協議会、(株)沖縄第一興商、琉球大学、イオンタウン(株)、(株)ストリズム(地域デザインセンター)、沖縄メディカル病院、ユインチホテル南城、FMしまじり(FMなんじょう)

実施地域

沖縄県南城市

事業概要

高齢者の外出機会を誘引し、地域コミュニティ参加や就労活動など積極的な社会参加による 生きがいづくりを推進、活力ある超高齢社会づくりに貢献する。



5. 本事業での達成目標

■最終目標

ICTの活用による、高齢者が元気・健康になり、働く意欲のある高齢者の就労・社会参加を促進し、南城市が掲げる「ちゃーGANJU CITY構想」に基づく「日本一元気で魅力ある街づくり」の実現

■実証目的

「4つの施策を実施、連携、循環させることによる、介護予防・健康増進さらには社会参加に無関心な層のアクティブシニア化を地域ぐるみで活性化する仕組み」を構築・実証することで、ICTによるムラヤー構想実現を推進する

6. 事業における地域の連携体制

確実な事業実施を実現する多種多様なプレイヤー







本事業における取組み



1. 高齢者ニーズ・行動特性への考慮

自宅のテレビをインターフェースに(スマートテレビ化)

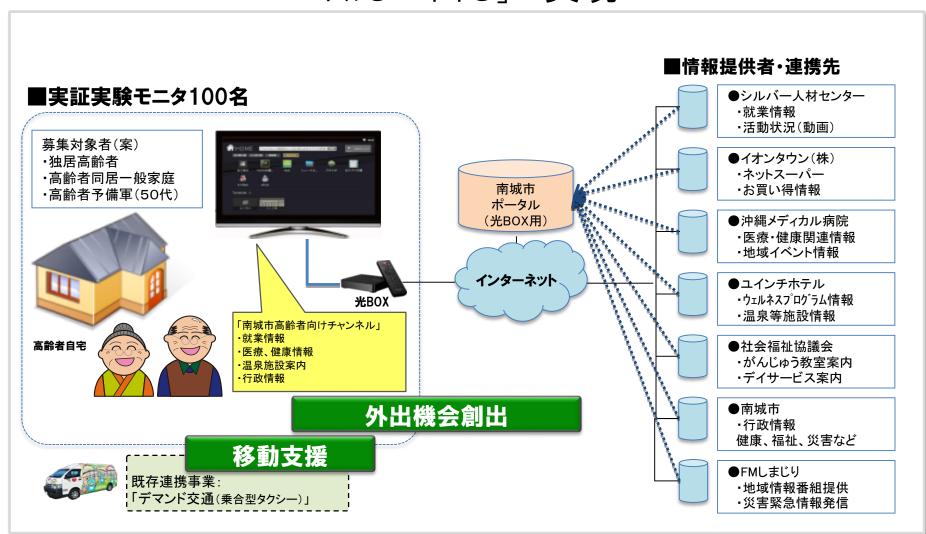
TV(家)⇒デマンド交通⇒ムラヤー⇒活動範囲拡大

高齢者を支える多世代コミュニケーションの重視

アクティブシニア化による地域経済活性化

2. テレビを活用した高齢者の外出を促す仕組みづくり

各種情報を「南城市高齢者向けチャンネル」へ集約 ~「知る⇒出る」の実現 ~



(参考)光BOX+について

光BOX+はあらゆる世代の市民が、自宅のテレビで、多彩なインターネットコンテンツをはじめ、様々な体験をTVのような簡単リモコン操作で楽しむことを可能とする端末です。



(参考)テレビへの配信画面

<トップ画面>



平成25年11月30日 (土曜日) 21:33











南城市地域物産館がオープン

南城市の観光拠点・物産販売の拠点として、「南城市地域物産館」がオープン。 地域の特産品販売や野菜、生鮮食品など の販売を行います。





GANJUFA ZZJU KATUT

音声切り替え

なんじょう ビデオ お役立ち情報

診療・健康 体操情報 シルバー人材お仕事情報

なつかし 南城写真館

イオンの チラシ

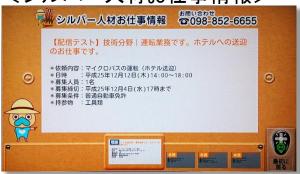
バスを 呼ぶ

(参考)テレビへの配信画面

くお役立ち情報>



<シルバー人材お仕事情報>



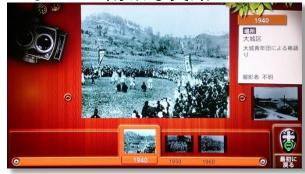
<チラシ>



<診療・健康体操情報>



くなつかし南城写真館>

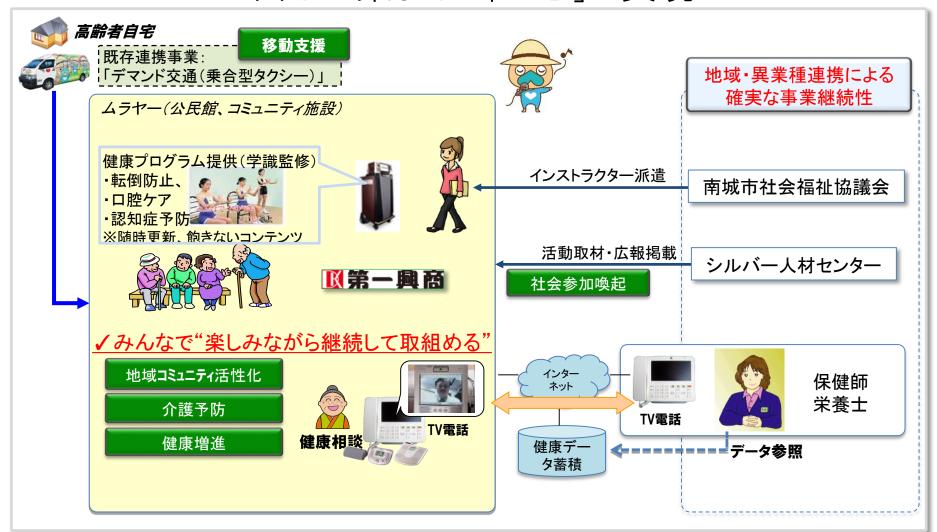


くバスを呼ぶ>



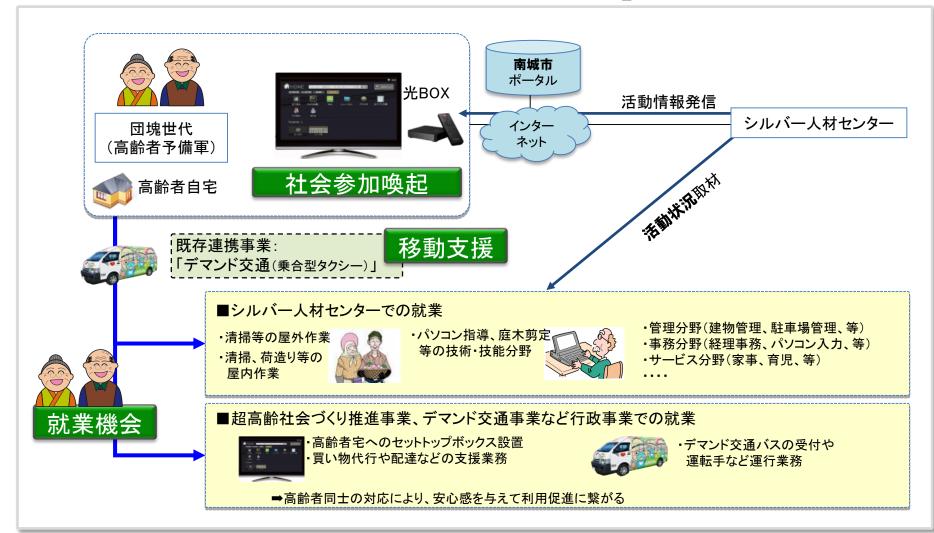
3. 「ムラヤー」を中心とした地域コミュニティ活性化と健康増進

ムラヤーで楽しむ健康増進、定期的な健康チェック ~ 「出る⇒集まる・楽しむ」の実現 ~



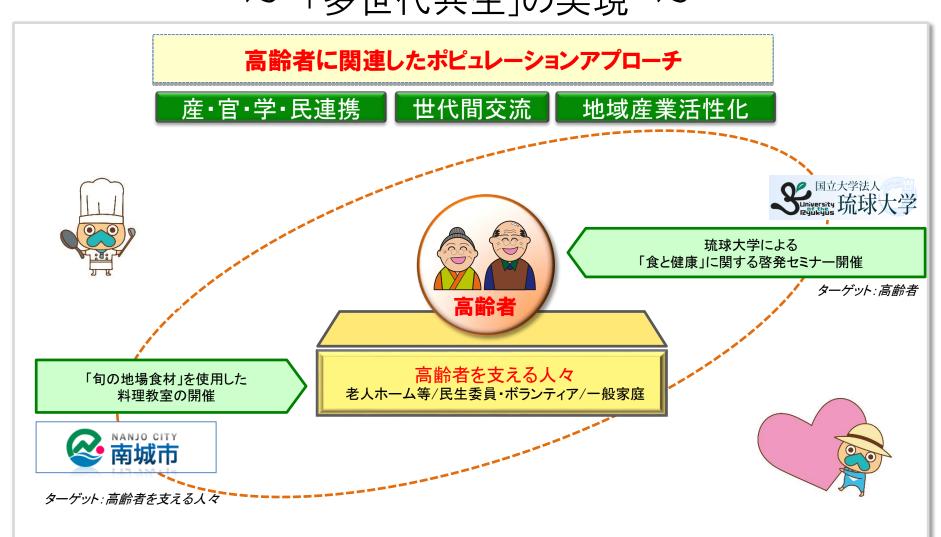
4. 就業支援による生きがいづくりと人材掘り起こし

就労へのハードルを下げ、地域ぐるみでアクティブシニア化 ~「集まる・楽しむ⇒社会参加」の実現 ~



5. 地域全体で取組む超高齢者社会づくりの推進

高齢者のハードルを下げ、世代間交流を促すしかけ ~ 「多世代共生」の実現 ~







本事業の実証結果



1. 全体概要

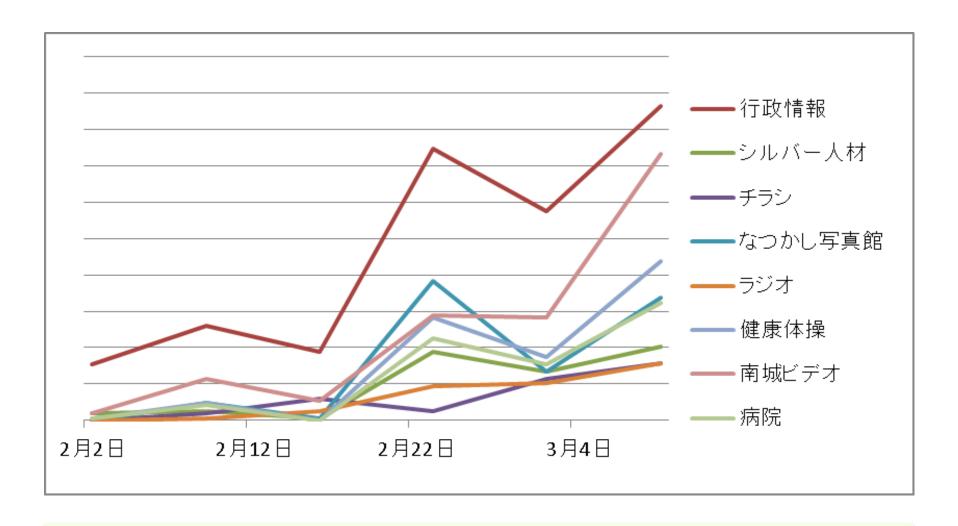
| 施策 | 指標 | 目標 | 結果 |
|--|------------------------------|-------------------|---------------|
| 【施策1】 テレビを活用した高齢者の外出を促 す仕組みづくり | テレビでの情報閲覧利用者数 | 100名 | 47世帯 (58名) |
| | デマンド交通バスの利用状況 | 50名が 1回以上利用 | 25名 |
| 【施策2】 ムラヤー(公民館)を中心とした地域 コミュニティ活性化と健康増進 | 公民館でのイベント参加者数 | 70名が 1回以上参加 | 88名 |
| | 健康相談の利用者 | 50名が 1回以上利用 | 51名 |
| | 高齢者バイタルデータの 改善状況 | 生活習慣病 予備軍50%削減 | 31%改善 |
| 【施策3】 就業支援による生きがいづくと人材 掘り起こし | 「高齢者向け情報配信プラット フォーム」での会員増 | 12名増 | 16名増 |
| | 就労マッチング実績数 | 12件 | 16件 |
| 【施策4】 地域全体で取組む超高齢社会づく りの推進 (ポピュレーショアプローチ) | 啓発セミナー参加者数 | 150名 | 102名 |

2. テレビを活用した情報配信の有用性について



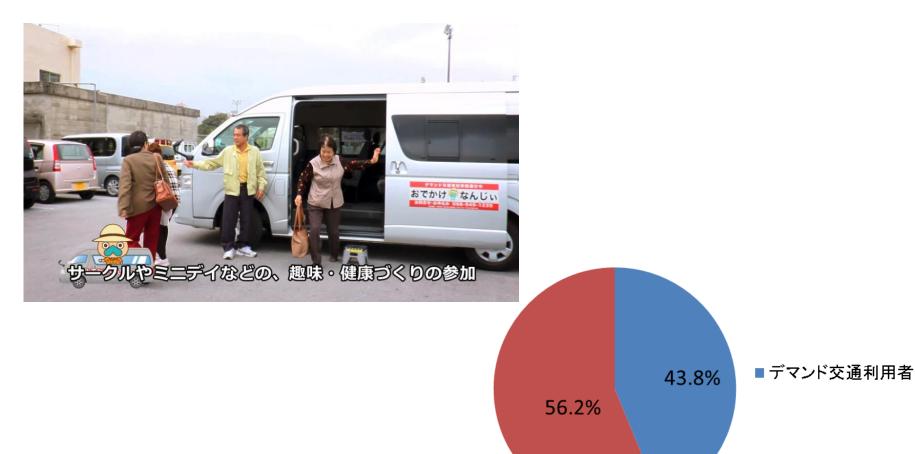
利用者の69%が操作が簡単と回答

3. テレビで見られた情報



一番見られた情報は「行政情報」であった。全体を通して利用者の81%がテレビを通じた地域情報が「良い」と回答

4. デマンドバスとの連携による外出機会の向上

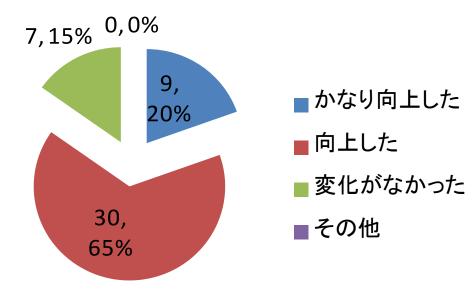


参加モニターの43.8%がデマンド交通を利用している

5. ムラヤー(公民館)を中心とした健康増進

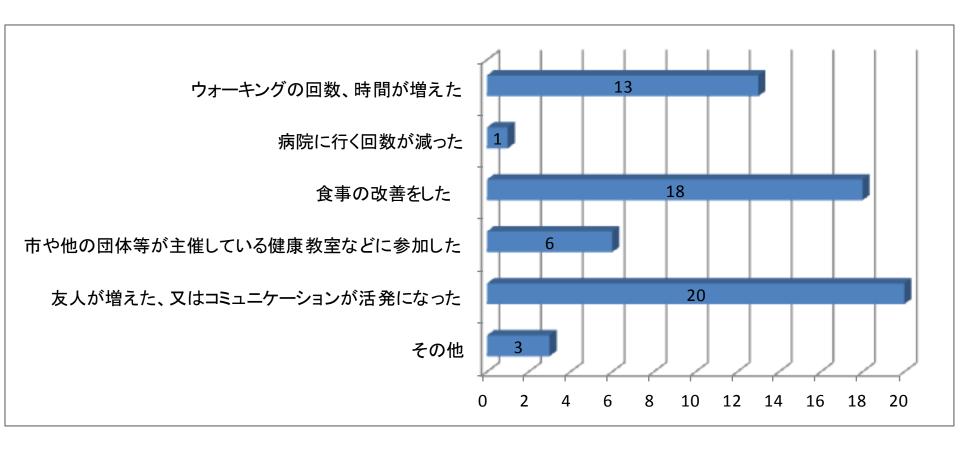


イベント参加後の健康意識アンケート (n=46)



健康意識の向上につながった住民が85%となった

5. ムラヤー(公民館)を中心とした健康増進

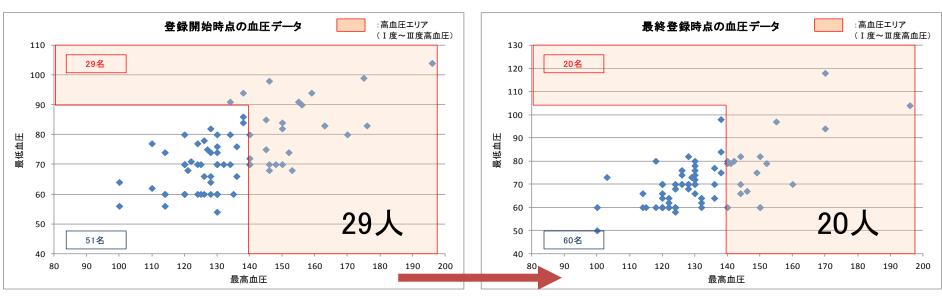


ウォーキングなど健康増進に関する行動変化も現れた

5. ムラヤー(公民館)を中心とした健康増進



登録開始時点では高血圧者が29名だったのに対し、最終登録時点では20名(31%の人が改善)という結果になった。



31%の高血圧改善効果見られた

6. 就業支援による生きがいづくと人材掘り起こし









シルバー人材センターの新規会員が16名増えた

7. 地域全体で取組む超高齢社会づくりの推進









参加者合計 51名

世代を超えて高齢者同居の主婦などに向けたセミナーの開催





最後に(今後の展望)



最後に(今後の展開)



- ・光BOX実証 (コンテンツ製作・配信含む)
- 健康相談実証歌と健康実証

高齢者街づくり(総務省実証実験) ~まちづくり活動の礎の創出~

対象:高齢者

目的:外出支援•健康增進

手法:外出を誘導する情報発信

健康増進活動の活性化 多世代交流イベント

- ・光回線の導入促進(方法は別途)
- ・光BOXの普及 (コンテンツ製作・配信含む)
- ・ターゲット別情報配信
- ・行政によるコミュニティコンテンツ配信
- ・健康相談の中高年への展開
- ・歌と健康
- ・買い物支援の実施

街づくりの展開

~まちづくり活動の展開~

対象:高齢者&中高年

目的:市民の自立的活動への誘導

手法: ムラヤー活性化に向けた情報発信 生活習慣病予防の健康増進活動 自立的交流に向けたリーダー育成

・全世帯への光回線の導入完了

• 光BOX普及完了

・市民によるイベントコンテンツ製作

・健康相談・管理の全世代への展開(PHR)

児童・高齢者見守り、防災等

行政・市民協働&自立的な街づくり ~日本一元気で魅力あるまち~

対象:全市民

目的:共助・共栄・共存の実現 手法:ムラヤーによる情報発信

健康増進に向けた自主的活動地域リーダーによる交流イベント

外出・交流の促進

→健康長寿生活ネットワーク再形成



